



ながはま

市

議

会

Vol.31

平成25年10月15日発行
発行：長浜市議会
編集：議会だより編集委員会

だより



平成25年第3回定例会が9月5日から9月27日まで(23日間)の日程で開催されました。

| | |
|---------------------------|--------|
| 役員等の改選、正副議長あいさつ | 2頁 |
| 常任委員会報告 | 3頁 |
| 各会派代表による主な質問事項と答弁概要 | 4～7頁 |
| 議員個人による主な質問事項と答弁概要 | 7～12頁 |
| 議会基本条例について | 12～13頁 |
| 議決結果、議会からのお知らせ、編集後記 | 14頁 |



役員等が改選されました

| 【議長】 土田良夫 | | 【副議長】 竹本直隆 | | 【監査委員】 森田義人 | | | | |
|----------------------|-----|------------|--------------|--------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 総務教育常任委員会 | 10名 | 正 副 | 竹内達夫 東 久雄 | 押谷憲雄 藤井 繁 | 押谷與茂嗣 森田義人 | 落合武士 山岡孝明 | 東野 司 脇阪宏一 | |
| 健康福祉常任委員会 | 10名 | 正 副 | 柴田清行 浅見信夫 | 石田節子 土田良夫 | 伊吹正弘 野村俊明 | 北田康隆 林多恵子 | 柴田光男 溝口治夫 | |
| 産業建設常任委員会 | 9名 | 正 副 | 松本長治 杉本敏隆 | 浅見勝也 中嶋康雄 | 阪本重光 西尾孝之 | 竹本直隆 吉田 豊 | 田中伝造 | |
| 議会運営委員会 | 8名 | 正 副 | 落合武士 藤井 繁 | 北田康隆 野村俊明 | 竹内達夫 溝口治夫 | 田中伝造 吉田 豊 | | |
| 議会だより編集委員会 | 7名 | 正 副 | 浅見勝也 伊吹正弘 | 北田康隆 林多恵子 | 西尾孝之 溝口治夫 | 野村俊明 | | |
| 長浜水道企業団議会議員 | 9名 | | 浅見信夫 中嶋康雄 | 伊吹正弘 野村俊明 | 北田康隆 松本長治 | 田中伝造 吉田 豊 | 土田良夫 | |
| 湖北広域行政事務センター 議会議員 | 12名 | | 浅見勝也 土田良夫 | 浅見信夫 西尾孝之 | 阪本重光 林多恵子 | 柴田清行 藤井 繁 | 柴田光男 溝口治夫 | 杉本敏隆 山岡孝明 |
| 湖北地域消防組合議会議員 | 12名 | | 東 久雄 竹本直隆 | 石田節子 土田良夫 | 押谷憲雄 野村俊明 | 押谷與茂嗣 東野 司 | 柴田清行 藤井 繁 | 竹内達夫 脇阪宏一 |
| 長浜米原市議会連絡協議会 委員 | 8名 | | 浅見信夫 竹本直隆 | 落合武士 土田良夫 | 阪本重光 西尾孝之 | 柴田光男 吉田 豊 | | |
| 敦賀・長浜・高島三市議会 協議会 | 6名 | | 土田良夫 竹内達夫 | 竹本直隆 柴田清行 | 落合武士 松本長治 | | | |



土田良夫 議長



竹本直隆 副議長

正副議長就任あいさつ

この度の8月臨時会において、議員各員のご推挙を賜り、議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、現在の地方自治を取り巻く情勢を考えると、改めて責任の重大さに身の引き締まる思いであります。また、この重責を果たすため、渾身の努力を傾注してまいりたいと考えております。

さて、地方分権、地域主権の議論が進む中、地方自治体の裁量や責任が増し、議会の果たす役割もますます重要になっております。行政のテック機関として機能を果たすとともに「市民に開かれた議会」が求められています。本市議会は、全国に先駆けてこれまでその取り組みを進めてきましたが、さらにホームページで議会活動写真館を作成して議会活動を理解いただけるようにし、委員会のインターネット動画配信の実施や、より分かりやすい質問・答弁のため小項目一問一答方式による質問方法を導入してきました。

9月5日には、こうした議会活動・運営の基本的な理念を定めた「長浜市議会基本条例」を制定しました。議会と市民の皆さんとの関係、議会と行政との関係などについて規定しています。

今後も、この条例の考え方に沿って、市民の皆さんの負託に応えられるよう、誠心誠意努力してまいりますので、皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

各常任委員会・特別委員会の報告

各常任委員会で審査を行いました。主な内容は、次のとおりです。

観音文化振興事業や教育施設整備等を審査

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は「平成25年度長浜市一般会計予算（第6号）」等12件であり、慎重審議の結果、いずれも承認または可決すべきものと決しました。また「国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願」「地方財政の拡充に関する請願」は不採択と決しました。

▼補正予算では、観音文化振興事業、各小学校教育力メラ設置や防球ネット、プール新築工事などの施設整備やスクールバス運営費等の教育関連費用、市内防犯灯LED化事業費、西浅井桜並木保全事業費、高月支所用地購入費等の諸議案のほか多岐にわたる事業を審議し、活発な議論が交わされました。（紙面の関係上割愛しますが、詳細は長浜市ホームページ「長浜市について」行政情報「財政情報」をご覧ください）

▼条例改正は余呉支所、浅井小学校・湖北幼稚園整備に関する住所変更に伴うもの、市民プールの整備に伴うスポーツ施設条例の一部改正等です。ほか債権管理条例の制定を審査しました。

▼その他、新庁舎庁用備品の財産の取得について審査しました。

▼議案以外の協議事項として、償却資産に係る固定資産税の現行制度維持をはじめとする地方税財源の確保について議論を交わし意見書を提出しました。

長浜市病院事業会計決算議案等を審査

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、可燃ごみの焼却をクリスタルプラザに統合することや職員給与減額の経費見直しにより、湖北広域行政事務センター負担金の減額補正を含めた平成25年度長浜市一般会計補正予算等9議案であり、慎重審議の結果、いずれも承認または可決すべきものと決しました。

▼平成24年度長浜市病院事業会計決算の認定については赤字決算となりました。医師・看護師等の人材不足のため入院患者数が減少したことも要因の一つであり、継続した人材確保に努めるよう提言しました。平成24年度長浜市老人保健施設事業会計決算につきましては、赤字決算となり健全な運営が行われていました。

▼条例改正については、地方税法等の改正に伴い、寄付控除対象の拡大・住宅借入金等特別控除の延長・拡充、公的年金の特別徴収制度の見直し・延滞金利率の引き下げ等の市税条例等の一部改正、平成26年4月に運用開始される、ながはまウエルセンターに保健センターの移転と児童発達支援センターの開設、浜の子園・いちご園の移転付属機関の規定等に関する条例改正が提出され、いずれも可決すべきものと決しました。

木之本・高月水道事業会計決算議案等を審査

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、平成25年度長浜市一般会計補正予算、木之本・高月水道事業会計決算等の5議案であり、慎重審議の結果、いずれも承認・可決すべきものと決しました。

▼一般会計補正予算の主なものは、7月29日に発生した豪雨被害の復旧及び黒田官兵衛博覧会の実施に係る補正予算等です。

▼長浜市簡易水道事業特別会計補正予算については、使用料のあり方を審議いただくための審議会の設置に係る委員報酬の補正予算です。

▼木之本・高月水道事業会計については、平成27年度に長浜水道企業団との事業統合が予定されており、未収金の回収など経営改善に向けた取り組みを強化されるようにとの意見がありました。

▼付託議案審査前には、祇園町地先で施工している的場井川第四雨水幹線雨水渠築造工事進捗状況の現地確認を行いました。



会派代表質問が行われました

7会派が会派代表質問を行いました。主な質問と答弁の内容を発言順に掲載しています。



新しい風（溝口治夫議員）

◆藤井市政4年間の総括と今後の市政運営について

問 藤井市政4年間の振り返りについてどのように総括されているのか問う。

答 マニフェストについては、この3年間で主この項目に着手できたと考えている。成果としては、「長浜市基本構想」を改定したほか、教育環境整備に重点を置き、市内全小中学校の耐震化、エアコンの設置、県立高等学校の再編に取り組んだ。さらに新庁舎の建設、市民プールの整備、博覧会の開催による観光振興、北部地域の振興等、新市の基盤づくりに取り組んだ。

問 次期市長選出馬についての意志を問う。

答 引き続き市長として市政の諸課題に取り組み、「夢と希望のまちづくり」を担わせていただくと、私が私の使命と責任と考え、来年の月の市長選挙に立候補を決意した。

◆夢ある教育の街・長浜を目指すについて

問 子どもたちの教育を考えた上で基本となる方針について問う。

答 次の長浜、さらには日本の将来を支える子どもたちが生き生きとたくましく、健やかに学ぶことができる教育環境を担保することが我々大人に与えられた使命である。

問 子どもたちの現状と今後の教育方針について問う。

答 全国学力学習調査の結果は標準レベルで、学校では「知・徳・体」をバランス良く育てることを目指していきたい。

◆長浜市の少子化対策について

問 市としての問題意識を問う。

答 地域経済の活力低下をはじめ、地域コミュニティの機能に重大な影響を及ぼす問題だと認識している。

問 当市の25年・50年後の人口実態について問う。

答 25年後の人口予測は約10万9千人で、とりわけ北部地域の減少率が顕著となっている。

問 若い人に対する結婚の環境について問う。

答 企業誘致や低価格の住宅の提供等、若者が結婚しやすい環境づくしを進めたい。



プロジェクト21（浅見勝也議員）

◆隣市敦賀市との今後の連携強化について

問 ①市長の敦賀市に対する見解、②敦賀市との連携実績と評価、③市内北部の実態調査、④行政間レベルの協議開催、⑤民間分野の連携について問う。

答 ①敦賀市の役割の重要度から県境を越えた連携を行っていく。②主に観光面での連携に取り組んできた。③県消費購買動向調査・県勢調査で把握している。④福滋県境交流促進会を軸に進めていく。⑤一層の企業交流や連携可能性に期待する。

◆本市の選挙制度について

問 ①期日前投票の変更による問題発生、②ネット選挙の影響、③ポスター掲示板・投票所の数の整理、④電子投票導入の可能性について問う。

答 ①事前周知を行い、苦情や大きな混乱は無かった。②ホームページ掲載し事件や問題は無かった。③検証・勘案して丁寧に進めていく。④法や条件の整備が確認できれば考えたい。

◆非常備消防事業の今後について

問 ①団員活動の温度差の是正、②備品購入の補助制度の見直し、③団員確保の具体的対策、④消防団事務・担当職員配置について問う。

答 ①差異解消に意志疎通を図りバックアップする。②実情に応じた補助内容となる精査をおこなう。③大切な組織であり加入促進を図る。④旧6町の消防団事務を消防本部に移行調整をしている。



◆職員の職務進行のあり方について

問 ①市長の職員に対する総合評価、②「長浜市職員人材育成基本方針」、③「Bossプロジェクト」の取り組み、④職員の行政指導について。

答 ①一体感が醸成され、職員能力が高く、さらに職員力を高める。②見直し後「長浜市職員力・組織力開発基本方針」を策定した。③継続的に事務の見直し、組織運営改善、職員のスキルアップに取り組む。④職員が十分認識し適正指導が行われるよう努める。



今浜会 (柴田光男議員)

◆合併から今日までの取り組みと今後の方向性について

問 行政コストの削減の現状と今後の取組について問う。

答 合併後3年が経ち、職員削減による人件費65億円など、ほぼ計画どおり着実に行政コスト削減を実施しており、今後は公共施設の統合に本格的に取り組む。

問 合併算定替えの終了への対応について問う。

答 今後の財源不足に備え、平成27年度までに60億円を積立て、合併基本計画に沿って信頼と安心感のある財政運営を行う。

問 合併基本計画について問う。

答 「財政計画」を定め、類似団体都市と同規模の財政規模へと早期に転換し、財政基盤の強化を進め、またさまざまな産業振興を図っていく。

問 合併特例債と合併基本計画について問う。

答 新市の均衡ある発展に向けて取り組み、合併特例債の期間延長については「新市まちづくり計画」の期限、平成27年度までに「手続きを進める。

◆長浜市のスポーツ施策について

問 国体種目招致での課題と今後について問う。

答 県の動向を見据え、各関係団体と協議し、招致種目の選定や施設整備について積極的に取り組む。

問 生涯スポーツとしての取り組みについて問う。

答 本市「スポーツ推進計画」を策定し、スポーツ振興のあり方を見直し、健康の維持増進につながる環境づくりを進めている。施設利用料については適切な料金設定を行い、多くの方に利用していただけるよう努めている。



長浜市民テニスコート



創政クラブ (吉田豊議員)

◆文化遺産を活かしたまちづくり

問 地域の祭りや行事の外部への発信、伝統文化に対する住民意識のバランスの調整について問う。

答 地域の祭りや行事は観光誘客による経済効果だけでなく、地域のまちづくりの基盤となると考えており、まちづくりを進めていくうえで欠かせないものとして支援する。

◆生涯を通じて健康に暮せるまちづくり

問 特定健診受診向上のための対策について問う。

答 受診と同時に統合健診の充実、未受診の人への電話勧奨や通知を行い、さらに声かけ活動を行っている。今年度は地域での伝達活動や健康出前講座等で啓発活動を活性化している。また地域づくり協議会と協働し、広報活動や地域行事に合わせた啓発イベント等に取り組んでいく。

問 O次予防健診との関係を問う。
答 O次受診すると特定健診を受けたいことになり受診者数が増加すると見込んでいる。またO次受診することで受診の習慣づけの機会となり、

◆特定健診の受診増加に寄与するもの

と考える。健康づくりとの関係では病気の早期発見・対応ができ、健康まちづくりの視点からは、NPO「O次クラブ」が設立され、「心と体の健康づくり」の普及啓発を目的に様々な活動され、地域医療にも貢献いただいている。今後も引き続き全国唯一の取り組みであるO次予防健康づくり事業を推進し、生涯を通じて健康に暮らせるまちづくりを実現していきたい。

◆たくましい経済基盤をつくるまちづくり

問 長浜駅東口再開発の目的について問う。

答 一点目は都市計画に定められている市街地再開発事業により都市基盤の整備で暮らしやすさや個性と魅力が実感できるまちづくりを実現すること。2点目は中心市街地活性化基本計画に位置付け、都市機能の強化、求心力の向上、魅力的な駅前空間の創造を目指すもの。3点目に市の玄関口として駅前と周辺部が連携したまちづくりの取り組みを誘因する。



日本共産党 (浅見信夫議員)

◆市民生活に多大の影響を与える 安倍政権の主な政策について

問 安倍政権の暴走政治から市民の命と暮らし、平和を守る立場で、消費税増税・原発ゼロ・TPP・集団的自衛権に係る市長の見解を問う。また、社会保障充実に消費税増税分を財源にあてるという政府の説明は偽りだろうか。

答 消費税率引上分は社会保障充実の財源にあてられる。景気の落ち込みや低所得者対策の措置を講ずるよう望む。将来は原子力発電に依存しない社会を求め、TPPは農林水産重要5品目確保などを守って交渉に当たってもらいたい。集団的自衛権行使は憲法9条の理念を踏まえて判断されるものと考ええる。

◆社会保障制度の改悪を許さず、市民の命や暮らしを守る課題について

問 8月からの生活保護基準引き下げの影響をどう把握しているか。

答 各世帯がそれなりに工夫して生活している範囲内だと考える。

問 第6期「ゴールドプラン」ながはま21に向けての検討状況を問う。

答 本格的な超高齢社会の地域課題を踏まえ、包括ケアの考え方に基づく基盤整備と持続可能な介護保険運営のあり方の検討を進めている。

◆市民要求に応えた財政運営について

問 予算で一般財源総額は確保されており、子ども医療費や住宅リフォームへの助成など切実な市民要求に振り向けることについて問う。

答 市の財政運営の基本は「選択と集中」により財政規模を縮小しつつも必要なサービス事業を確保することにある。子ども医療費は現行制度を維持し、住宅リフォームは今後の施策として考える。

◆まちなか居住を促し、地域コミュニティの回復について

問 中心市街地活性化の目標の一つに「まちなか居住」の促進がある。高齢化が進む中心市街地の現状や課題について問う。

答 中心市街地人口は9912人で15年間に約1000人減少。高齢化率は30%で高齢者世帯が増えてきている。「まちなか居住推進事業」では課題を明確にし取り組みを進めたい。



日本維新の会 (野村俊明議員)

◆観光振興について

問 観光イベントの経済効果や費用対効果等の検証や評価を踏まえ、十分に効果が期待できないものの見直し等のほか、観光振興条例についても問う。

答 各イベントの経済効果は、測定基礎となる観光客実数の把握が難しく、経済効果の算定までに至っていない。今年度、観光客数の実数把握と経済効果推計に関する調査を行い、手法を確立する。新たな観光振興計画の必要性も感じている。

◆建築技能者の待遇改善について

問 公共事業の最大発注者である国土交通省が2013年度の設計労務単価(積算基準)を全国・全職種平均で約15%引き上げた。公共事業を発注する地方公共団体は、それに準拠するのが慣例である。市としての対応を問う。

答 国土交通省の営業部慣習による公共建築工事積算基準に基づき、一般市販刊行物の物価資料に掲載された材料費や労務費等を含む市場単価

を採用し積算を行っている。国土交通省の設計労務単価は採用していないため、今年度の設計労務単価の引き上げと同等の建築工事の見直しはない。

問 最新の市場単価はどの時点で採用されたかを問う。

答 工事の発注時期によって異なるが、採用できるものは4月から採用している。物価資料は平成25年5月から最新の市場単価が始め、7月に全て切り替わっている。市場単価の場合、前年同月と比べると最大で10%程度上昇しているものもあるが、横ばい、下降しているものもある。

問 物価や労務費の急激な変動があった場合、市はどのような対応をするのか問う。

答 最新の物価資料を使った市場単価による積算で対応できない場合には、国や県、他市の動向も踏まえた上で、年度途中であっても必要に応じて本市の予定価格の積算方法の見直しを検討し、速やかに対応できるものは対応する。また工事途中の場合は、本市の建設工事契約の範囲の中で適切な対応をする。



公明党 (林多恵子議員)

◆期日前投票の宣誓書と選挙推進

問 期日前投票の宣誓書について問う。

答 次回選挙から投票所入場券の裏面を「期日前投票宣誓書」として利用できるように進めている。事前に自宅で記入いただけるので手続きがスムーズになり、円滑な期日前事務ができるよう進める。

問 不在者投票所は何力所か、また管理者の下に適正に執行されているか問う。

答 不在者投票施設は19力所を指定している。指定された病院や老人ホーム、しょうがい者施設等では施設長が法に基づいて投票事務を執行している。

◆成年後見人の選挙について

問 被後見人数、告知の方法について問う。

答 公選法の改選により本年7月の参議院選挙から成年後見人の選挙権が回復され、参院選における該当者は115人であった。この選挙から投票が可能であることから有権者として選挙入場券を送致した。

◆通学路および地域の安全の整備について

問 防災安全交付金について問う。

付金について国として交通事故から子どもを守るための財源が確保されたが本市としてどの事業に交付金を充てられたのか問う。

答 市道の舗装や消雪装置などの修繕学路の交通安全対策として防護柵の設置や路面標示、橋梁の長寿命化修繕計画などに充当した。

問 市道八幡中山末広線・あじさい通りの交差点の点滅信号の安全性の確認はされたのか、また日赤病院前の工事の完成について問う。

答 長浜警察署において交通量や道路幅員等を勘案し、あじさい通りを優先道路として判断されているようである。日赤病院前の工事は本年7月31日に橋梁工事が完成している。市道南田附神前線の供用開始は平成26年3月末を予定している。



個人一般質問

今定例会では15人が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容を発言順に掲載しています。



北田 康隆 議員 (プロジェクト21)

◆介護保険改革について

問 今後の状況の予測について問う。

答 要介護および要支援認定者数は増加傾向にあり、被保険者に対する認定者数の割合を表す認定率は平成18年の16.7%から平成24年には17.5%まで増加している。推計人口によると高齢者数の増加が予測されることもあって、今後も増加していくと見込まれる。よって介護保険サービスにかかる総費用も合わせて増加していくと予想される。

問 政府は「要支援」のサービスを介護保険制度から切り離し市町村の独自事業とする改革案を示しているが地域包括センターがこの事業を運営できるのか。また地域包括センター業務を民間に委託できないか。

答 全国的には7割の自治体で地域包括センター業務を民間に委託しており、本市においても職員のスキルを上げるとともに、地域包括支援センター業務を逐次、民間へ委託する方向で検討する。



◆学校の今後の統廃合について

問 少子化を迎え各学校とも児童が減少する中、今後の統廃合についてのビジョンを問う。

答 学校は、地域の核であり地域住民の声をよく聞いて判断したい。しかし複式学級が2つ以上になる場合は統合の判断基準としたい。



柴田 清行 議員

(新しい風)

◆空き家対策について

市内空き家の実態把握について問う。

現在、市内全域で約200件弱あると考えられる。その内放置状態が2割程度と確認している。

今後どのような対策が必要になるのか問う。

解体撤去には多額の費用が必要で、所有者と連絡が取れない空き家もあり、現在進行中の調査の中で問題点を明らかにして対策を検討していく。

空き家適正管理条例の制定について問う。

法的手続きも必要になるため国や他市の事例等も参考に、どのような対策が必要か検討していく。

◆余呉湖の湖水環境と周辺施設について

湖水環境の現状把握について問う。

湖水環境の保全、調査は管理者の県に行っている。現状はリッジが北岸一帯に繁殖し、外来魚の大量繁殖も従来から確認している。

外来魚の大量繁殖は利水ダム化の影響によるものであると把握しているのか問う。

釣客の持込放流や農業利水事業による琵琶湖からのポンプ送水の影響で、天敵がいいため大量繁殖に繋がったと思われる。

余呉湖の開館の経緯を問う。

余呉湖農業利水ダム計画や余呉湖総合開発計画での余呉湖周辺の公有化による交渉過程で県によって建設された。

閉館される余呉湖の今後について問う。

地域づくり協議会、自治会、商工会、観光協会等の関係者に広く意見を求め、活性化に繋がる

ような計画を取りまわす。



東野 司 議員

(所属会派無し)

◆ユニバーサルデザインのまちづくり

五輪招致最終プレゼンでの「お・も・て・な・しー」は本市ホスピタリティ都市構想特区の精神そのもの。本市は今日まで先進的に表記事業に取り組んでいるが長期的計画・整備指針を問う。

基本構想に明記し全市あげて取り組んでいる。検討を加え、行政のみならず市民の協力を含めた市全体での整備に努めたい。

AEDの設置場所について

新指針となり、夜間や休日を考慮し、コンビニエンスストアに設置をお願いしてはどうか。

設置することにより利用しやすい環境が整備できると考える。協力をお願いしていきたい。

消防団年末夜警について

赤色回転灯のみでなく以前のように警鐘音を鳴らすべき。防火啓発効果も大きいが見解を問う。

啓発や周知の効果は高まると思うが夜間における活動のため消防団と十分協議していきたい。

市長の中長期的ビジョンについて

選挙ごとに長が変わり、中長期的施策が進ま

ず内外から失われた20年と揶揄される状況が続いた。次期市長選への動向と意気込みを問う。また

自民党県連青年局長としての活動の中で風の違っても実感した。党公認・推薦・支持等を受けるのか

どうか。

今後もこれまでの市政を前進、発展、未来への力に変えていくよう引き続き市政の諸課題に全身全霊で取り組むことが「使命と責任」と考え立

候補を決定した。地方の一自治体の首長という立場から一党一派に偏らないのが理念である。



西尾 孝之 議員

(日本維新の会)

◆虎姫暴力事件について

なぜ事件が起きたのか。

概略は次のとおり。本年7月29日午前9時ごろ、住宅適正化推進室担当が改良住宅を返還していたため入居者の親族A宅を訪れた。

これは入居者が使用せず他者に転貸されていたため明渡請求し、応じられなかったために訴訟を提起し、7月26日に判決が下ったもの。日時は

当事者と約束したものであった。訪問するとAの知人Bが来て、突然大声で威嚇し、職員1名

に対し、胸元を掴んだり足を蹴ったりした。現在、起訴され係争中であるので、動機等は徐々に明らかになるものと思われる。

市長は報告を受け、どのように感じたか。

大きな驚きと憤りを感じた。日本は法治国家であり、いかなる意見や信条があろうと言論

や法律によって解決すべきで暴力は許されない。今後とも暴力や不当要求には毅然とした対応を

とりた。

北地域の除雪問題について

不満を多く聞く。除雪体制はどうか。

合併以前の水準を維持することを基本としている。地域により降雪量や気象条件が大きく

異なり、旧自治体が地域事情に応じて取り組んできた作業を継続することが必要と考える。除

雪本部は各支所それぞれに設置する体制をとり、迅速かつ機動的な作業に努めている。また創設

した補助制度を活用して市民協働の除雪にも取り組んでいきたい。



東 久雄 議員

(公明党)

◆大雨被害対策について

問 今後の集中豪雨の対策について問う。

答 万一の災害発生時には初動体制の充実が大切である。今回、被災した箇所においては、再度災害が発生しないよう関連工事を実施する予定であり、今後、同様の豪雨により被災する可能性もあることから計画的な整備が必要と考える。



問 県への予算要望で河川整備等、横江谷川等の対応について

答 平成26年度の県事業予算編成に関して、長浜市全域の箇所別要望内容に写真や位置図を加え、県土木交通部や長浜土木事務所に対して要望を行い、横江谷川の維持管理についても掲載した。しかし、未だに対策が講じられていない状況であり、早期に実施していただくように今後とも強く要望していきたいと考える。

◆がん教育の充実について

問 モデル事業の参加の検討について

答 文部科学省は、がんに関する保健教育を強化し、次回の学習指導要領改訂で内容の拡充を目標としている。がんについて、さらに関心を持つことは大切なことと考える。来年度からのモデル校事業については現在のところ詳細が判らない。国からの方向性が示されたら検討していきたい。



杉本 敏隆 議員

(日本共産党)

◆学校給食について

問 学校給食の目標は、子どもの健康保持増進、望ましい食習慣、勤労を重んじ、食料の生産・流通・消費についての理解などにある。自校調理方式は、ふれあいができ、調理の苦労がわかり、温かさなどの食感に問題がなく、すぐれている。センター方式は効率化・合理化の財政的メリットにある。唯一自校方式を採用している湖北4小中学校の給食を変えようとしている。むしろ自校方式を他の学校に広げるべきだ。



答 センター方式での安全安心な給食の提供により、学校給食の目標は達成している。

◆学校トイレ等の修繕について

問 家庭では洋式が主流となっている。東日本大震災後、学校は避難場所としての機能充実が求められている。改善プログラムを作り、学校トイレの改善を進めるべきだ。

答 学校トイレ改善のプログラムは必要と考えており、作成する。

◆シルバー人材センター支援について

問 長浜シルバー人材センターは、会員数でも契約高でも県内一。しかし、合併後の落ち込みは深刻。この最大の原因は、1市6町合併で補助金が2千万円も減ったことにある。補助金増額や事業支援など、シルバー人材センターの要望にこたえるべきだ。

答 継続的に政策協議を行っていく。



中島 康雄 議員

(所属会派無し)

◆教育施設に関する安全対策について

問 猫の損壊事件や地域での不審者情報に対応すべく「長浜市子どもを犯罪の被害から守る条例」がどう活かされてきたのか問う。

答 全職員の共通理解のもと、各学校で作成されたマニュアルのとり、保護者に対する緊急連絡メールや文書により情報提供と注意喚起が行える協働・連携の網を広げ、迅速な対応が常に展開されるよう努める。

◆災害復旧助成金制度の制定について

問 被害を大きくしているのは河川に流失した堆積土砂であり、各町内で川掘をするのはそうした備えによるものである。少し流向を変化させるだけで山が崩れる可能性は低くなる。日ごろからの備えに対し助成制度を確立することで被害を最小限にし、最大の効果となるのではないか。制度設置の必要に対し市の方針を問う。

答 提示いただいた自治体の事例等も参考とし、助成をどの程度していいのかが検討する。

◆施設仕分けについて

問 借金等、将来に負担を送らないために施設の必要性、施設の性能、資産的価値を市民に明らかにする施設仕分けが必要でないか問う。

答 「施設仕分け」は施設見直しの有効な手段。施設の必要性や性能、資産価値の明確化、市民ニーズや利用状況、交通便利性等の地理的条件等施設総量圧縮、適正配置、長寿命化、民間連携による効率化等公共施設の統廃合に取り組む。

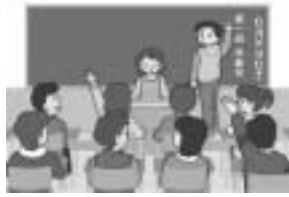


協阪 宏一 議員
(プロジェクト21)

◆授業時数の拡大について

問 市内全小・中学校エアカン設置に伴い、授業時数拡大等について問う。

答 小学校28校中21校で各学年3〜4回程度、中学校では全ての学校で4〜8回程度学力補充を行っている。しかし、各学校間に差があることも事実である。夏季休業期間を短縮して二期を始めている学校も多い。したがって一定授業数を増やすことはできている。今日の児童生徒の学力や規範意識等、課せられた課題を考えると授業時数拡大は喫緊の課題と認識している。教育委員会としても再度授業時数について検討する時期に来ていぬと認識している。



◆学校管理職人事について

問 今年度末から3年以内に市内40人の小・中学校長の内35名が退職する。後任の人材と地域ぐるみの学校教育推進を問う。

答 校長配置については、年功序列ではなく優秀な人材配置を考えている。平成24年に「学校運営協議会」を市内の全小・中学校に立ち上げたので、今しばらく大事な組織として位置付けたい。その後、「地域づくり協議会」とも連携し、本来のコミュニティスクールに向けて着実に前進させたい。



石田 節子 議員
(創政クラブ)

◆原子力防災対策について

問 福島事故後、美浜・もんじゅ・敦賀の3施設に取られた防災対策など現状確認結果について問う。

答 緊急防災対策で非常用電源等確保、防潮壁や止水扉等の津波対策の対応、免震重要棟建設予定地確認、原子炉内の放射線管理区域内確認など安全確保対策が進められていた。



問 避難道路の確保について、原発事故の際、敦賀方面から避難する車で国道8号線が渋滞する恐れがあり、国道303号線バイパス道路が必要。事業採択に向けての考えを問う。

答 現在の継続事業の目的が立てば予算の確保状況、他事業の進捗状況、地元との協議調整状況により事業化が検討される。

問 原子力防災図上訓練について問う。

答 現在実施している災害図上訓練により行っていく。

問 屋内退避や避難指示時の水道水の使用について、洗顔や清拭のためなど飲用以外であれば人体に影響がないのか問う。

答 厚生労働省からの通知では、飲用以外での使用は放射性物質による人体への影響は極めて小さく、低い濃度レベルの場合、リスクは少ないため水の利用は可能とされている。



押谷與茂嗣 議員
(今浜会)

◆教育環境の適正化について

問 小学校の適正規模についての考えを問う。

答 学級は30人から35人、学習の集団は20人から25人規模、学年は単学級により人間関係が固定化されることは避けるべきと考えることから、クラス替えが可能な複数学級集団が基本的に望ましいと考える。



問 公共施設、教育施設の統廃合は避けて通れない喫緊の課題であり、教育委員会サイドで組織・検討チーム等を立ち上げる気持ちはあるのか問う。

答 今後の統廃合に関わる進め方については、今回の上草野・下草野の小学校の統合、新校づくりから教訓となるものがたくさんある。検討チーム・検討組織を立ち上げ、対応していきたい。

問 小規模校が増えていく中で、しっかりと点検・調整がなされて施設整備が行われているのか。無駄な投資にならないか。地域でしっかりと整合性が取れているのか問う。

答 小規模校であっても児童生徒の安全に関する整備については、進めていく必要があると考えている。将来を見据え、無駄がないように検討していきたい。



竹内 達夫 議員
(日本共産党)

◆丹生ダム中止の決断について

問 自然破壊、莫大な税金の無駄遣い（既に550億円の支出）、計画から半世紀も経過しているのにダムの本体工事は全く進んでいない。「ダムありき」で河川改修の放置が旧びわに再々避難勧告を出す結果になっている。嘉田知事も「ダム計画があったので河川整備が滞った」と発言、近畿地方整備局も今になって「治水目的ならダムより河川改修が安く効果的」と評価している。この際、丹生ダムはきっぱりと中止の決断をして河川改修をすべき。

答 丹生ダムの方針が定まっていないため、河川整備が遅れていることも避難勧告の要因と認識している。苦渋の決断をした地元住民の視点に立ち検証を進めてもらいたい。

◆獣害対策防護柵補助金の引き上げについて

問 限度額は現行30万円だが、整備範囲が限られているため50万円に引き上げるべきではないか。

答 今年度から再整備の補助金引上げ等状況に応じて見直している。「集落連携」が生まれ「点から線へ」広がり、絶好のこの時期に補助制度を検討する。

◆JR西日本は車両編成を元に戻すべき

問 平成3年の長浜駅までの直流化から20数年、朝の2両編成、米原での4両切り離し、新快速減などの改善を強く求めるべき。

答 「2両編成の4両増結」「米原駅連結・切り離し」は今後もJRに働きかけね。



伊吹 正弘 議員
(新しい風)

◆給食費について

問 新長浜学校給食センターができ、新たに配食される幼稚園は8園。給食費の会計扱い、振替手数料の処理を問う。

答 私会計、学校給食会に納付する。振替手数料は保護者負担となる。

問 既に給食がされている学校・園の振替手数料は10円であるが、今年度以降の新規手数料は105円となる。保護者負担は公平でないと考えられるがどうか。

答 現金で集金する。

問 給食費の未納額と主な理由を問う。

答 約967万円で、①経済的理由、②保護者としての責任感や規範意識の問題がある。

問 答弁②の理由による未納の保護者への督促や交渉は教員の仕事なのか問う。

答 本務ではない。しかしその苦勞も承知している。

問 このような学校現場の状況とコンプライアンスの観点からも給食費は公会計に移行してはどうか。

答 克服すべき事務処理上の課題が多い。

◆ワンストップサービスについて

問 コンセプトを問う。

答 ハードでは窓口集合とIT活用による効率化を図る。ソフトは全職員が自ら窓口の意識を持ち、「市民はお客様」という意識で、笑顔で積極的な接客対応をする。



落合 武士 議員
(プロジェクト21)

◆市の観光施策について

問 合併後のスケールメリットを生かした観光ネットワークについて問う。

答 二次交通の充実や各種ツアーにより周遊性を高め、ネットワークの強化を図っている。

問 外国人観光客の集客対策について

答 本市の外国人観光客の入込客数は1〜2万人程度でまだまだ少ない。逆に伸びる可能性があり、観音様や歌舞伎・浄瑠璃等、誘客資源を活かし、京阪神や中京の都市に近いという地の利を生かしていきたい。

問 観光事業に携わる緊急雇用職員の今後の見込みについて問う。

答 現在、3事業21人の雇用実績がある。「黒田官兵衛」に関する事業も含め、必要な箇所には継続的にスタッフを配置し、体制整備を図っていききたい。

◆学校図書教育について

問 学力テストを踏まえ、教育活動について問う。

答 全国平均を上回る年、下回る年がある。課題は読解力や表現力、問題を読み切る力等がやや弱い。今後の教育行政のあり方を考えたい。

問 学校図書室の充実について問う。

答 子どもたちが自ら行きたくなるような魅力ある整備や活用を進めていきたい。

問 司書の配置について問う。

答 司書は配置していない。早急に対応したい。

問 図書を使った授業について

答 ボランティアの協力もいただきながら進めたい。



松本 長治 議員
(新しい風)

◆原発事故後のエネルギーについて

問 現在、事故発生時に市民の安全な避難態勢が確保される状況にあるのか問う。

答 滋賀県では、広域避難にかかる時間推計調査などを踏まえた、広域避難について検討を進めており、市でも、原子力防災訓練を実施し、検証を重ね、市民の安全確保が図れるよう努める。

問 市内における、自然エネルギーの活用について問う。

答 積極的に再生可能エネルギーの活用を推進し、2020年には、本市賦存量の1割に相当する、300万キロワットを導入目標とする。

◆風水害への備えについて

問 今後の豪雨災害に備えたハード面の整備をどのように考えるか問う。

答 検証により、構造物の設置勾配や断面積不足など設計上の課題を確認した。今後は道路や河川の整備において、



降雨条件等、適正な設計で整備に努める。

問 市と消防団ならびに地域との連携、安全確保について問う。

答 今後とも消防団や自主防災組織等との連携強化を図る。また指揮命令系統や情報共有等をはじめ、災害に対して安全かつ、より機動的、機能的、効果的に対応できるように改善していく。



押谷 憲雄 議員
(日本維新の会)

◆長浜給食センター整備事業の施設整備不備の検証について

問 施設完成後、なぜ改良工事をしたのかを問う。

答 配送車両の駐車スペースに問題があることは判っていたが、配送業者から連絡があり、現地確認で、当初の配送口では車両の出入りに関して重大な問題があることを確認し、改善が必要と判断した。

問 改良工事と配送契約の追加費用額について問う。

答 改良工事費981万円、配送契約の増額分は6月に委員会報告した金額より年500余万円増額、委託期間4年間で2893万円である。

問 合わせて400万円近くもの多額の費用を追加したが、このような不手際を指導監督できなかったことに対し、処分が行われたのか。

答 事務執行の不手際が見られたが、法令等に違反する事案でなかった。しかし、事態を放置していたは市民から信頼を得られないため、厳しく訓示をした。

問 教育長として、今回の不手際について市民の皆様に対し、どのような言葉を発するのか。



答 教育委員会において、連絡調整ミスが重なり、多額の費用負担につながったことを説明し、お詫びしたが、市民の皆様にご心配をおかけし、申し訳なかった。このような事を起こさないよう肝に銘じて、事務執行に努めてまいります。

長浜市議会基本条例を制定!

本定例会開会日(9月5日)に「長浜市議会基本条例」が全会一致で可決されました。

条例制定の背景

2000年の地方分権一括法の施行によって国と地方自治体が形式的には対等な立場となり、自治体を構成する「行政」・「議会」・「市民」が持続可能な自治体経営の構築という命題に取り組むことが必要となりました。このことにより議会の果たすべき役割、責任が重くなったといえます。市政のチェック機関である議会のあり方や市民に対する政策の形成・決定の過程などの情報の徹底的な公開と共有、説明責任を果たすシステムづくりが求められることになりました。時代に即した議会への変革を迫られることになり、本市議会でもそうした議論を重ね、また実行してまいりました。それらの理念を明文化したものが議会基本条例と言えます。

長浜市議会基本条例の構成

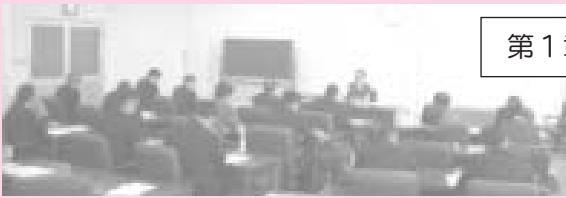
前文

豊かな自然、悠久の歴史文化資産を守り継ぎながら、進取の精神と市民協働のまちづくりが息づく長浜市において、長浜市議会（以下「議会」という。）は、長浜市長及び執行機関（以下「市長等」という。）とともに、二元代表制のもと、それぞれが長浜市民（以下「市民」という。）から負託された権能を発揮し、日本国憲法及び地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）に定める地方自治の本旨の実現と市民の福利向上を使命として活動するものです。

議会は、市民から直接選挙で選ばれた長浜市議会議員（以下「議員」という。）により構成される合議制機関です。地方自治体の自主性と自立性が増し、市民に、より開かれた議会が求められる今日において、長浜市の議決機関としての責務を自覚して最良の意思決定を行うことにより議会の使命を達成するため、また、長浜市の最高規範である長浜市市民自治基本条例（平成23年長浜市条例第1号）との整合を保持するため、議会の運営原則、議員の活動原則等をこの条例によって定めます。

章

…第1章から第10章で構成



第1章総則 …… 目的・用語の定義



第2章 … 議会の運営原則・議員の活動原則

- ◆議会の運営原則
- ◆議員の活動原則
- ◆会派の理念について

第4章 … 市民と議会との関係

- ◆市民参加・市民との連携
- ◆市民との意見交換の機会

第6章 … 自由な討議の保障

- ◆討議による合意形成
- ◆調査・政策立案、政策討論

第8章 … 調査・政策立案機能の向上

- ◆政務活動費
- ◆研修、他自治体議会との交流・連携
- ◆議会事務局、議会図書室、予算等

第10章 … 最高規範性と見直し手続き

- ◆最高規範性
- ◆見直し手続き

第3章 … 議長及び副議長

- ◆議長及び副議長の理念等について

第5章 … 議会と市長等（行政）との関係

- ◆緊張関係の保持、一問一答方式、反問、閉会中における文書質問
- ◆地方自治法第96条第2項の議決事件
- ◆審議における論点情報の形成

第7章 … 委員会等

- ◆委員会の活動（公聴会・参考人招致制度の活用、閉会中の定例的な委員会開催）

第9章 … 議員の身分、待遇、政治倫理

- ◆議員定数
- ◆議員報酬
- ◆政治倫理

※条例の全文（解説付）および各実施要領等は、ホームページに掲載しています。



条例は長浜市議会が市民のために活動していくことの理念と手段であり、制定がゴールではなくスタートです。

条例が生きたものとなるよう議員全員が協力して積極的な施行に努め、今後も市民により開かれた議会、市民の負託に答えられる議会として進めるようにしたいと考えます。

平成25年長浜市議会第3回定例会議決結果表

平成25年長浜市議会第3回定例会議決結果表

賛否の分かれた議案・請願・意見書

| 議案番号 | 案 件 | | 新しい風 | | | | | | | | | | プロジェクト21 | | | 日本共産党 | | 今国会 | | 日本維新の会 | | 創政クラブ | | 公明党 | | 無 | | | |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|----------|------|------|-------|------|------|------|--------|------|-------|------|------|------|-----|-----|------|------|
| | | | 伊吹正弘 | 阪本重光 | 柴田清行 | 藤井繁 | 松本長治 | 蒲口治夫 | 森田鶴人 | 浅見勝也 | 落合武士 | 北田康隆 | 土田良夫 | 鶴阪宏一 | 浅見信夫 | 杉本敏隆 | 竹内達夫 | 押谷昌茂 | 柴田光男 | 田中伝造 | 押谷憲雄 | 西尾孝之 | 野村俊明 | 石田節子 | 山岡孝明 | 吉田豊 | 東久雄 | 林多志子 | 中島康雄 |
| 議員提出議案第2号 | 長浜市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例 | 賛成少数 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × |
| 議員提出議案第3号 | 長浜市議会委員会条例の一部を改正する条例 | 賛成少数 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × |
| 議員提出議案第4号 | 議案第93号長浜市民スポーツ施設条例の一部を改正する条例の修正案 | 賛成少数 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × |
| 請願第4号 | 国に対し「消費税増徴中止を求める意見書」の提出を求める請願 | 賛成少数 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 請願第5号 | 地方財政の拡充に関する請願 | 賛成少数 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 意見書案第3号 | オスプレイが参加するあひ野演習場における日米合同演習の中止を求める意見書 | 賛成少数 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × |
| 意見書案第4号 | TTP交渉からの撤退を求める意見書 | 賛成多数 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 表内の「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表します。 ※ 議長は土田良夫は採決に加わりません。
 ※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

全員一致で賛成可決・承認・認定・同意したもの

| | | | |
|-----------|--|----------------|---|
| 議員提出議案第1号 | 長浜市議会基本条例 | 第87号 | 長浜市督促手数料及び延滞金徴収条例及び長浜市公共下水道事業に係る受益者の負担に関する条例の一部改正について |
| 第74号 | 専決処分事項の承認を求めることについて（専決第4号） 専決第4号 平成25年度長浜市一般会計補正予算（第5号） | 第88号 | 長浜市保健センター条例の一部改正について |
| 第75号 | 平成25年度長浜市一般会計補正予算（第6号） | 第89号 | 長浜市子ども療育センター条例の一部改正について |
| 第76号 | 平成25年度長浜市診療所特別会計補正予算（第1号） | 第90号 | 豊雲館条例の一部改正について |
| 第77号 | 平成25年度長浜市介護保険特別会計補正予算（第1号） | 第91号 | 長浜市立学校の設置等に関する条例の一部改正について |
| 第78号 | 平成25年度長浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） | 第92号 | 長浜市立公民館条例の一部改正について |
| 第79号 | 平成24年度長浜市木之本・高月水道事業会計決算の認定について | 第93号 | 長浜市民スポーツ施設条例の一部改正について |
| 第80号 | 平成24年度長浜市病院事業会計決算の認定について | 第94号 | 長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について |
| 第81号 | 平成24年度長浜市老人保健施設事業会計決算の認定について | 第95号 | 財産の取得について |
| 第82号 | 長浜市債権管理条例の制定について | 第96号 | 長浜市多文化共生・国際文化交流ハウスの指定管理者の指定について |
| 第83号 | 長浜市附属機関設置条例の制定について | 第98号～ 第104号 | 小谷財産区管理会の委員の選任について |
| 第84号 | 附属機関等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について | 意見書案 第5号 | 「地方税財源の充実確保」に関する意見書 |
| 第85号 | 長浜市役所支所設置条例の一部改正について | | |
| 第86号 | 長浜市税条例等の一部改正について | | 議案第105号～議案第115号 一般会計歳入歳出決算にかかる11議案（継続審査） |

議会の会議を 傍聴 しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

今後の会議予定（10月15日以降）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 10月22日(火) 決算特別委員会産業建設分科会 | 11月28日(木) 第4回定例会開会日 |
| 10月23日(水) 決算特別委員会健康福祉分科会 | 12月 9日(月)～11日(水) 一般質問 |
| 10月24日(木) 決算特別委員会総務教育分科会 | 12月12日(木) 産業建設常任委員会 |
| 11月14日(木) 定例常任委員会 | 12月13日(金) 健康福祉常任委員会 |
| 10時～ 産業建設常任委員会 | 12月16日(月) 総務教育常任委員会 |
| 13時～ 健康福祉常任委員会 | 12月18日(水) 第4回定例会閉会日 |
| 15時～ 総務教育常任委員会 | |

※（日程は変更される場合があります）
 この他にも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

編集 後記

▼10月も中旬となり、一段と秋の深まりを五感で感じる中、市内では各種行事が盛大に開催され多くの参加者で賑わっています。
 ▼さて今夏も猛暑に見舞われ、また台風18号等による豪雨被害が全国で発生しました。本市内でも避難勧告や道路・農業施設等に多くの被害が発生しましたが、追って災害復旧に向けて事業が順次進められています。

▼また、先の9月定例会では「長浜市議会基本条例」を制定しました。「議会の憲法」といふべきこの条例に則り、市民の皆様により身近な議会となる諸活動を行っていく中で、市民の皆様の多種多様なご意見を市政に反映していけるようにしたいと思います。

▼私たちの任期も残すところあと10ヶ月を切りました。次の任期の市議会にスムーズにバトンタッチすべきことも視野に入れながら、それぞれの与えられた立場で最後まで使命責任を果たしてまいります。

ながはま市議会だより編集委員会

市議会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.city.nagahama.s.niga.jp/index.cfm/6,0,31.html>